

第5回滋賀県公園緑地検討協議会 びわこ文化公園部会 議事要旨

| | |
|--------------------|--|
| 開催日時 | 令和2年(2020年)6月3日(水) 14:00~15:40 |
| 開催場所 | びわこ文化公園 管理事務所会議室 |
| 出席委員 (敬称略、五十音順) | 井上委員、大西委員、澤本委員代理、瀬戸口委員代理、武田委員、宮本委員、野田委員、肥山委員、増田委員、村田委員、山崎委員、吉居委員 【全13委員、出席12委員】 |
| オブザーバー | 滋賀県土木交通部 辻野技監、滋賀県総合政策部企画調整課 林副主幹 |

① 第4回 滋賀県公園緑地検討協議会 議事要旨について

第4回滋賀県公園緑地検討協議会 議事要旨について説明。

② びわこ文化公園の活性化検討状況について

滋賀県営都市公園の活用に関するサウンディング市場調査結果概要を説明。

<主な意見等>

- ・公園が持つ魅力を事業者のメリットとして感じてもらう必要がある。
- ・指定管理者や地域と密着した、いいチームワークとなる枠組みを今後考える必要がある。枠組みの方向やほかとの比較など外部のヒアリングだけでなく、協議会でも議論する必要がある。
- ・公園の魅力を生かすためには、収益施設ではなくても人が来たくなる仕掛けが必要と考える。また、ソフトに力を入れる外部の協力者を大事にすべきだと考える。
- ・有料施設の検討では各施設についての想定や現在の状況確認が必要。
(有料駐車場については、図書館利用者を無料とした場合、収益が見込めないと考える。)

③ びわこ文化公園の今後の事業予定について

滋賀県 公園施設長寿命化計画について説明。

<主な意見等>

- ・平日の昼間は、ウォーキングされている御年配の方が多。そういった健康志向のアクティブシニア向けの健康遊具の設置についても検討が必要。
- ・わんぱく広場の小川の浚渫や維持管理についても実施して欲しい。
- ・デザイン的にそごが生じないように、各施設で歩調をあわせるため公園全体で園路修理を考える必要がある。また、どこを整備し、直していくのか共有をする資料が必要と考える。
- ・必ずしも公園で事業をすることが決まってから意見を聴くだけでなく、どのような事業をしたいか意見を聴くことも必要。ソフト的な試みや、それを社会実験的に実施することも今後検討が必要。

④ 滋賀県都市公園マネジメント基本方針(案)の策定について

滋賀県営都市公園 マネジメント基本方針(原案)。

<主な意見等>

- ・「多様な主体が相互に交流」するためには、ソフト事業が必要。県民や民間団体への活用の場として広く周知することが必要。

- ・他の公園での社会実験の事例を踏まえ、思いのある方たちに展開の場として使っていただく手法もある。

⑤ その他

コロナウイルス感染症対策について報告。

- ・4月24日から駐車場を閉鎖し、それに合わせて遊具や貸し施設の使用禁止を実施しました。
- ・その後5月16日から駐車場の閉鎖措置を解除し、6月1日から順次遊具使用禁止の解除や貸し施設の使用禁止の解除を進めています。
- ・ボランティア団体の活動に当たっては、県や指定管理者に相談いただき感染症対策をとりながら活動を続けていただけたらと考えております。